

## 問題編 目次

はしがき	2
改訂版の序	3
本書の特長と使い方	5

### 問題・解答解説

<b>Chapter 1</b> 文型と動詞	6	<b>Chapter 11</b> 疑問、否定など	108
<b>Chapter 2</b> 時制	22	<b>Chapter 12</b> 名詞・冠詞	118
<b>Chapter 3</b> 助動詞	30	<b>Chapter 13</b> 代名詞	126
<b>Chapter 4</b> 受動態	38	<b>Chapter 14</b> 形容詞	138
<b>Chapter 5</b> 仮定法	46	<b>Chapter 15</b> 副詞	148
長文融合型問題にチャレンジ①	52	長文融合型問題にチャレンジ③	156
<b>Chapter 6</b> 不定詞	56	<b>Chapter 16</b> 前置詞	160
<b>Chapter 7</b> 動名詞	66	<b>Chapter 17</b> 接続詞	178
<b>Chapter 8</b> 分詞	74	<b>Chapter 18</b> 特殊構文など	190
<b>Chapter 9</b> 関係詞	82	<b>Chapter 19</b> その他の重要事項	198
<b>Chapter 10</b> 比較	94	長文融合型問題にチャレンジ④	218
長文融合型問題にチャレンジ②	104		

編集協力：有限会社 編集室ピーライン  
校正：松本賢治／株式会社 交学社／笠井嘉生／Jason A. Chau  
装幀・本文デザイン：相馬敬徳 (Rafters)  
編集担当：高杉健太郎

## 本書の特長と使い方

本書は、文法項目ごとに入試問題をまとめた本冊「問題編」と、同じ文法項目順に文法の要点を詳しくまとめた別冊「精講編」から成っています。「問題編」を解いてみて苦手と感じたり、不安に思ったりした文法項目について「精講編」を読んで確認しましょう。また、先に「精講編」を読んだ上で「問題編」に取り組む方法も可能です。





### 問題編 (本冊)

- 標準～応用レベルの文法知識が身につく問題約720問を厳選収録しています。
- 左ページが問題、右ページが解答解説となっており、問題を解いた後、すぐに答え合わせができる学習しやすい紙面です。
- 各章、標準問題→発展問題のステップアップ式で、無理なく力をつけられます。
- 標準問題は主に空所補充選択と語句整序、発展問題は主に文法正誤と英作文になっています。すべての問題で入試問題を使用していますので、入試に必要な実践力をつけることができます。また数章おきに難易度の高い長文融合型の問題も収録していますので挑戦してみましょう。

### 精講編 (別冊)

- 本冊と同じ文法項目順に要点を詳しくまとめた解説書です。入試に必須の文法知識の確認・学習をすることができます。なお、本書の主な目的は入試の文法問題を解く力をつけることであり、それ以上に詳しい文法・語法の知識の多くは省いています。
- (チェックボックス) がついている部分は要暗記項目です。印をつけるなどしてご利用ください。
- 別冊に掲載されている中から特に重要な文法用語や文法事項等を厳選した索引を巻末に50音順・アルファベット順で収録しています。

#### 本書で使用している主な略語・記号について

- ・S……主語/V……動詞/O……目的語/C……補語
  - ・[ ]……直前の語(句)と置き換え可能な語(句)を示します。
  - ・( )……省略可能な語(句)を示します。
  - ・   ……「語彙・表現」の部分に出てくるアイコンで、各品詞を示します。
  - ・do……動詞の原形/～ing……現在分詞(動名詞)
- (※一部、例外的に記号を用いずに言葉で説明している部分等もあります)

# Chapter 13 代名詞

● 別冊 p.95~108

## 標準問題

問1 ( )内に入れるのに最も適切なものを一つ選びなさい。

- He got in a taxi and rushed to the station to catch the 7:30 train, but I don't think he will ( ) it.  
① get      ② have      ③ make      ④ reach (関西学院大)
- I ( ) it a rule to get up early in the morning.  
① give      ② do      ③ perform      ④ make (駒澤大)
- I will ( ) it that there is no mistake.  
① find out      ② look over      ③ take to      ④ see to (立教大)
- ( ) seems a shame that they quarreled in the meeting without any self-control.  
① Anyone      ② He      ③ It      ④ There (駒澤大)
- Please ( ) yourself to anything in the kitchen.  
① have      ② help      ③ make      ④ take (武庫川女子大)
- John was ( ) with joy when his wife gave birth to their first child.  
① beside him      ② beside himself  
③ besides him      ④ besides himself (成城大)
- I will give the money to Bob if he really needs ( ).  
① one      ② the one      ③ it      ④ them (東邦大)
- The symptoms of cholera are similar to ( ) of Ebola.  
① them      ② those      ③ these      ④ that (阪南大)
- Three of the ten competitors reached the finals, but ( ) couldn't.  
① another      ② other      ③ the others      ④ any other (畿央大)

## 解答解説

### 問1

- 正解** ③ make ● 別冊 p.95 ②  
**和訳** 彼は7時30分の電車に間に合うようタクシーに乗って駅へ急行したが、間に合わないと思う。  
**解説** make itで「間に合う」の意味を表す。
- 正解** ④ make ● 別冊 p.97 ④  
**和訳** 私は朝(は)早く起きることになっている。  
**解説** make it a rule to doで「～することになっている」の意味を表す。itは形式目的語で、後ろの不定詞(to do～)を指す。
- 正解** ④ see to ● 別冊 p.97 ④  
**和訳** ミスが1つもないよう注意します。  
**解説** see to it that...で「…であるよう取り計らう、注意する」の意味を表す。itは形式目的語で、後ろのthat節の内容を指す。
- 正解** ③ It ● 別冊 p.96 ③  
**和訳** 彼らが自制心を忘れて会合で口論したのは残念なことに思われる。  
**解説** It is a shame that...「…ということは残念だ」のisを、seems (to be)～「～のように思われる」に置き換えた形。Itはthat節を指す形式主語。
- 正解** ② help ● 別冊 p.100 ⑦  
**和訳** 台所のものを何でも取って飲食してください。  
**解説** help oneself to～で「～を自由に取って飲食する」の意味を表す。
- 正解** ② beside himself ● 別冊 p.100 ⑦  
**和訳** ジョンは妻が最初の子を産んだとき喜びで我を忘れた。  
**解説** beside oneself (with joy)で「(喜びで)我を忘れて」の意味を表す。
- 正解** ③ it ● 別冊 p.95 ②  
**和訳** ボブがもし本当に必要なら、そのお金を彼にあげよう。  
**解説** the moneyをitで受ける。oneは不可算名詞の代わりには使えない。
- 正解** ② those ● 別冊 p.102 ⑨  
**和訳** コレラの症状はエボラ(熱)の症状に似ている。  
**解説** 同じ複数形の名詞(symptoms)のくり返しを避けるために、the symptoms of Ebolaの下線部をthoseで言い換える。
- 正解** ③ the others ● 別冊 p.102 ⑩  
**和訳** 10人の競技者のうち3人が決勝に進んだが、残りは進めなかった。  
**解説** 3つ以上のもののうちの「残りの全部が複数」の場合はthe othersで表す。ここでのthe othersはthe other competitorsの意味。

13

代名詞



# 精講編 目次

## Chapter 1 文型と動詞

1 文の要素	6	13 There で始まる文	12
2 品詞と文の要素の関係	6	14 V + O + for ~	13
3 文型と自動詞・他動詞	6	15 V + O + from ~	14
4 目的語と補語	7	16 V + O + into ~	15
5 修飾語	8	17 V + O + of ~	15
6 句と節	8	18 V + O + as ~	16
7 句動詞	9	19 V + O + on ~	16
8 S + V (第1文型)	9	20 V + O + to ~	17
9 S + V + C (第2文型)	9	21 V + O + with ~	18
10 S + V + O (第3文型)	10	22 V + O + その他の前置詞 + ~	18
11 S + V + O <sub>1</sub> + O <sub>2</sub> (第4文型)	11	23 意味や使い方の違いに注意すべき動詞	19
12 S + V + O + C (第5文型)	12	24 注意すべき意味を持つ動詞	21

## Chapter 2 時制

1 現在形・現在進行形と過去形・過去進行形	22	3 現在完了形	24
2 進行形にしない動詞	22	4 現在完了進行形	26
3 時・条件を表す副詞節で 未来を表す現在形	23	5 現在完了形では使わない副詞	26
4 未来 (の予定) を表す形	23	6 過去完了形・過去完了進行形・未来完了形	26
		7 時制の一致	27

## Chapter 3 助動詞

1 will, shall の一般的な用法	28	7 used to	33
2 will, would の特殊な用法/慣用表現	28	8 had better	33
3 should, ought to	29	9 need, dare	34
4 can, could, be able to	30	10 助動詞 + have + 過去分詞	34
5 may, might, must, have [has] to の一般的な用法	31	11 付加疑問と助動詞	35
6 may の特殊な用法	32	12 文を強調する do, 代動詞の do	35

## Chapter 4 受動態

1 能動態と受動態	36	4 完了形・進行形と受動態の組み合わせ	38
2 受動態を使った否定文・疑問文など	36	7 句動詞の受動態	38
3 SVO, O <sub>2</sub> (第4文型), SVOC (第5文型) の受動態	36	8 It is said that ... 型の受動態	39
4 <V + O + to do> の受動態	37	9 受動態に続く前置詞で注意が必要なもの	39
5 <V + O + do> の受動態	38	10 受動態に関するその他の注意	40

## Chapter 5 仮定法

1 直説法と仮定法	41	6 if を使わない仮定	43
2 仮定法過去 (if を使うもの)	41	7 I wish + 仮定法 / If only + 仮定法	43
3 仮定法過去完了 (if を使うもの)	42	8 as if [though] + 仮定法	44
4 仮定法過去と仮定法過去完了を 組み合わせた形	42	9 if の省略による倒置	44
5 if S should ~ / if S were to ~	42	10 仮定法を使った慣用表現	45

## Chapter 6 不定詞

1 不定詞の形と働き	46	7 疑問詞 + to do	49
2 名詞的用法の不定詞	46	8 原形不定詞	49
3 形容詞的用法の不定詞	46	9 完了不定詞	50
4 副詞的用法の不定詞	46	10 不定詞の否定形・進行形・受動態, 代不定詞	50
5 不定詞の意味上の主語	48	11 be 動詞 + to do	51
6 V + to do	48	12 不定詞を含む慣用表現	51
7 V + O + to do	48		

## Chapter 7 動名詞

1 動名詞の働き	53	3 動名詞の意味上の主語	55
2 動名詞と不定詞の違い①	53	4 完了動名詞, 動名詞の否定形, 受動態	55
3 動名詞と不定詞の違い②	54	5 動名詞を含む慣用表現	56
4 to + 動名詞	54		

## Chapter 8 分詞

1 分詞の基本	57	3 独立分詞構文	59
2 分詞 + 名詞	57	4 分詞構文と否定, 完了の組み合わせ	60
3 名詞 + 分詞句	57	5 with を使った (付帯状況を表す) 構文	60
4 補語の働きをする分詞	58	6 分詞構文がもともなった表現	60
5 分詞構文 (基本形)	59	7 分詞を含む慣用表現	61

## Chapter 9 関係詞

1 関係詞の種類と基本的な働き	62	3 関係代名詞 what	66
2 関係代名詞 (制限用法)	62	4 その他の注意すべき関係代名詞	66
3 非制限用法の関係代名詞	63	5 関係形容詞	67
4 前置詞 + 関係代名詞	64	6 複合関係詞	68
5 関係副詞	64		



## Chapter 10 比較

- ① 比較の3つの形式 ..... 69
- ② 比較変化 ..... 69
- ③ 原級を使った比較の基本 ..... 70
- ④ 比較級を使った比較の基本 ..... 70
- ⑤ 最上級を使った比較の基本 ..... 70
- ⑥ 倍数の表現 ..... 70
- ⑦ more・most ⇄ less・least ..... 71
- ⑧ 程度の差の表し方 ..... 71
- ⑨ the + 比較級 ..... 72
- ⑩ 注意が必要な比較表現 ..... 73
- ⑪ 原級・比較級を使って  
最上級の意味を表す形 ..... 73
- ⑫ 原級を使った慣用表現 ..... 74
- ⑬ 比較級を使った慣用表現 ..... 74
- ⑭ 最上級を使った慣用表現 ..... 76

## Chapter 11 疑問, 否定など

- ① さまざまな疑問文 ..... 77
- ② 間接疑問 (文) ..... 77
- ③ 疑問詞 what ..... 78
- ④ 疑問詞 how ..... 79
- ⑤ 疑問詞 why を使った慣用表現 ..... 80
- ⑥ 疑問・否定の強調 ..... 80
- ⑦ 否定の意味を含む副詞など ..... 81
- ⑧ 部分否定と全体否定 ..... 81
- ⑨ さまざまな否定の形 ..... 82
- ⑩ 命令文・感嘆文など ..... 83

## Chapter 12 名詞・冠詞

- ① 可算名詞と不可算名詞 ..... 84
- ② 慣用的に複数形を用いるもの  
(相互複数) ..... 85
- ③ 名詞の単数・複数形などに関して  
注意を要するもの ..... 85
- ④ 形の紛らわしい名詞 ..... 86
- ⑤ 意味に注意すべき名詞 ..... 86
- ⑥ 〈動詞 + 名詞〉の慣用表現 ..... 87
- ⑦ 冠詞の使い方 (基本) ..... 91
- ⑧ 冠詞の使い方 (発展) ..... 92
- ⑨ 冠詞を使った慣用表現 ..... 93
- ⑩ a friend of mine 型の表現 ..... 94
- ⑪ 冠詞の位置に注意すべき表現 ..... 94

## Chapter 13 代名詞

- ① 人称代名詞 ..... 95
- ② it のさまざまな用法 ..... 95
- ③ 形式主語の it ..... 96
- ④ 形式目的語の it ..... 97
- ⑤ 強調構文 ..... 98
- ⑥ 〈It + V + to不定詞・that節など〉の文 ..... 99
- ⑦ 再帰代名詞 ..... 100
- ⑧ one ..... 101
- ⑨ that, those ..... 102
- ⑩ another, the other など ..... 102
- ⑪ some, any,  
something, anything など ..... 103
- ⑫ all ..... 105
- ⑬ each, every ..... 106
- ⑭ both, either, neither ..... 107
- ⑮ none ..... 107
- ⑯ so, such ..... 108

## Chapter 14 形容詞

- ① 形容詞の2つの働き  
(限定用法・叙述用法) ..... 109
- ② 形容詞の位置 ..... 109
- ③ 感情を表す形容詞 ..... 110
- ④ 同じ語から派生した  
「形の紛らわしい」形容詞 ..... 110
- ⑤ 数量の大小を表す形容詞 ..... 110
- ⑥ 数詞の表現 ..... 111
- ⑦ 形容詞 + to do ..... 112
- ⑧ 形容詞 + that節 / of ~ ..... 113
- ⑨ 使い方に注意すべきその他の形容詞 ..... 113
- ⑩ 意味の紛らわしい形容詞 ..... 114
- ⑪ 〈形容詞 + 前置詞〉を含む慣用表現 ..... 115

## Chapter 15 副詞

- ① 副詞の形 ..... 117
- ② 副詞の用法 ..... 117
- ③ 副詞 (句) の位置 ..... 117
- ④ 〈動詞 + 副詞〉の句動詞と  
目的語の位置 ..... 118
- ⑤ 誤って前置詞を付けがちな副詞 (句) ..... 118
- ⑥ almost, most ..... 118
- ⑦ very, much ..... 119
- ⑧ 使い方に注意すべきその他の副詞 ..... 119
- ⑨ 意味に注意すべき副詞 (句) ..... 121

## Chapter 16 前置詞

- ① 前置詞句の働き ..... 122
- ② 注意すべき前置詞の意味と  
その慣用表現 ..... 122
- ③ 誤った前置詞を使いやすい表現 ..... 126
- ④ 前置詞の使い分けに注意が必要な  
〈動詞 + 前置詞〉 ..... 127
- ⑤ 前置詞を含む副詞句・形容詞句 ..... 129
- ⑥ 群前置詞 ..... 131

## Chapter 17 接続詞

- ① 接続詞と前置詞の区別 ..... 133
- ② 等位接続詞 ..... 133
- ③ 従属接続詞 ..... 134
- ④ 接続詞 that ..... 134
- ⑤ 接続詞 whether ..... 135
- ⑥ 接続詞 as ..... 135
- ⑦ 理由を表す従属接続詞 ..... 136
- ⑧ 時を表す従属接続詞 ..... 136
- ⑨ 条件を表す従属接続詞 ..... 137
- ⑩ その他の従属接続詞 ..... 138
- ⑪ 相関接続詞 ..... 139

## Chapter 18 特殊構文など

- ① 〈否定の副詞 + V + S〉の倒置 ..... 140
- ② so, neither/nor で始まる文の倒置 ..... 140
- ③ その他の倒置構文 ..... 140
- ④ 省略・挿入 ..... 141
- ⑤ 同格 ..... 141
- ⑥ 無生物主語 ..... 142
- ⑦ 話法 ..... 143

## Chapter 19 その他の重要事項

- ① 〈動詞 + 副詞 (+前置詞)〉の句動詞 ..... 144
- ② 〈動詞 + 前置詞・副詞〉の慣用表現 ..... 146
- ③ ことわざ ..... 150



## 1 現在形・現在進行形と過去形・過去進行形

- ・現在形：現在の状態，一般的事実，習慣的行為などを表す。
- ・現在進行形：行為や出来事が，現時点で進行中であることを表す。

例 I practice the piano every day. 【現在形（習慣的行為）】

私は毎日ピアノを練習している。

例 I am practicing the piano now. 【現在進行形】

私は今ピアノを練習している（ところだ）。

- ・過去形：過去のある時点における状態，過去の（習慣的または1回限りの）行為・出来事などを表す。
- ・過去進行形：行為や出来事が，過去のある時点で進行中であったことを表す。

例 I watched the news on TV yesterday. 【過去形（過去の行為）】

私は昨日テレビでそのニュースを見た。

例 I was watching the news on TV when you called me. 【過去進行形】

君が電話をくれたとき，私はテレビでそのニュースを見ていた。

▶ 過去進行形は，whenとともに「…のとき～していた」の形でよく使われる。

## 2 進行形にしない動詞

「状態」や五感による「知覚」などを表す動詞は，進行形では使わない。

進行形では使わない主な動詞

〈状態〉  be 動詞  belong to ～～に所属している  contain 含む

consist of ～～から成る  know 知っている  like 好む

own 所有している  resemble 似ている  seem ～～に思われる

〈知覚〉  hear 聞こえる  look ～～に見える  see 見える

smell ～～においがする

例 I belong [ × am belonging ] to the tennis club. 私はテニス部に所属している。

例 I was watching [ × seeing ] a soccer game. 私はサッカーの試合を見ていた。

▶ watch や look at ～は進行形にできるが，see 「見える」は進行形にしない。同様に，listen to ～「～に耳を傾ける」は進行形にできるが，hear 「聞こえる」は進行形にしない。

意味に応じて現在形と現在進行形を使い分ける動詞がある。

例 I'm having lunch right now.

私は今ちょうど昼食をとっている。

▶ have は「持っている」の意味では進行形にしないが，「食べる」の意味のときは進行形にできる。

例 My family lived [ was living ] in Osaka when I was a child.

私が子どものころ，私の家族は大阪に住んでいた。

▶ live 「住んでいる」は状態を表す動詞だが，一時的な状態を強調するときは進行形にできる。think 「考え（てい）る」，wear 「身につけている」なども同様。

## 3 時・条件を表す副詞節で未来を表す現在形

「時」や「条件」を表す副詞節では，未来のことも現在形で表す。

時・条件を表す副詞節を導く主な接続詞

〈時〉  when ～するとき  after ～した後で  before ～する前に

until / till ～するまで  as soon as ～するとすぐに

by the time ～するまでに

〈条件〉  if もし～なら  unless ～でない限り  in case ～しないように

例 I'll call you when I get [ × will get ] to the station. 【時を表す副詞節】

駅に着いたら電話します。

▶ 「駅に着く」のは未来の出来事だが，will は使わない。

例 I'll stay at home if it rains [ × will rain ] tomorrow. 【条件を表す副詞節】

明日もし雨が降れば，家にいます。

▶ 「明日雨が降れば」は未来についての仮定だが，will は使わない。

時・条件を表す副詞節では，未来完了形の代わりに現在完了形を使う。(→④)

例 I'll lend you this book when I've [ × I'll have ] finished reading it.

この本を読み終えたら，君に貸してあげよう。

【時を表す副詞節】

▶ 「この本を読み終えたら」は未来に行為が完了した状態になることを表すが，will は使わない。

when が「いつ」（疑問詞），if が「～かどうか」の意味を表す名詞節を作るときは，未来のことは will を使って表す（上のルールが適用されないため）。

例 Let me know when you will get to the station. 【名詞節】

いつ駅に着くか私に知らせてください。

▶ when 以下は，When will you get to the station? を間接疑問にした形。(→ Ch. 11 ④)

例 I don't know if it will rain tomorrow. 【名詞節】

明日雨が降るかどうかはわからない。

▶ ここでの if は whether 「～かどうか」の意味だから，〈条件〉ではない。(→ Ch. 17 ④)

## 4 未来（の予定）を表す形

未来のある時点で「～することになっている，～する予定だ」という意味を表すには，次のような形を使う。